
2026年 日光サーキット
日光四輪耐久レース競技規則書

日光四輪耐久レース運営委員会

2026年 日光四輪耐久レース 開催規則書

日光四輪耐久レースは、本開催規約及び特別規則に従って開催される。すべての参加者は、これらの諸規則に精通して、遵守するとともにオフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

【1】主催

日光四輪耐久レース運営委員会

〒321-0416 栃木県宇都宮市高松町 984 日光サーキット内

TEL 028-674-4390 FAX 028-674-4493

【2】開催場所

日光サーキット

〒321-0416 栃木県宇都宮市高松町 984

【3】申込・問合せ先

日光四輪耐久レース事務局

〒321-0416 栃木県宇都宮市高松町 984 日光サーキット内

TEL 028-674-4390 FAX 028-674-4493

【4】レース種別及び開催日

第1戦 3月29日(日)

第2戦 6月13日(土)

第3戦 9月6日(日)

4時間耐久レース

4時間耐久レース

4時間耐久レース

申込期間 2月28日～3月19日

申込期間 5月13日～6月3日

申込期間 8月6日～8月28日

【5】エントリーフィー

¥44,000/台(税込) (保険料別途 500円/名)

保険は参加選手及びピット要員も加入義務があります。

※日光サーキットの四輪走行会員の保険料は無料。

【6】参加資格

普通自動車免許証を所持しており、日光サーキットをドライ路面でラップタイムが 60 秒以内で走行できること。

※ 20 歳未満のドライバーが参加する場合、親権者の署名・捺印（実印）のある未成年者競技参加承諾書を添えてお申込みください。

【7】クラス分け（2018 年度大会より採用）

○ 1 クラス：排気量 1500cc 未満の車輛

○ 2 クラス：排気量 1500cc 以上の車輛

※ クラス変更は、エンジン型式の異なるエンジンに載せ替えた場合のみ認め、エンジンボアアップによる変更は認めないものとする。

※ クラス変更に伴うタイヤサイズの変更は認めない。使用できるタイヤサイズはクラス変更前の規定に準ずる。

※ 過給機付エンジンは、1.0 を係数として排気量換算する。（排気量×1.0）

【8】募集台数・参加人数

募集台数は先着 15 台とする。

ドライバーは参加車輛 1 台につき 2 名から 5 名までとする。

ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

【9】参加受付

各大会 1 ヶ月前から 10 日前（各開催日により日程の変更有）必着。また、定数になり次第受付を終了します。

申込用紙、誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留又は四輪耐久レース事務局（サーキット窓口）までお持ちください。

エントリー用紙、リザルトにペンネームを使用することは可能ですが、誓約書には住民票の住所氏名を記入してください。

【10】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。（正式受理書の発行は申し込み期間終了後、速やかに郵送にて発行されるものとします。）本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【11】中止延期・エントリーフィーの返金

主催者が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れがでた場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災に

よる施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000（事務局経費）を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000（事務局経費）を差し引いて返却いたします。1週間を切ったからの参加者理由による返却は行いません。

【12】 厳守事項

1. 時間厳守

すべてにおいて、時間厳守とします。やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。

※連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします。

2. ドライバーズブリーフィングへの参加

必ずドライバー全員が参加してください。

3. 参加ドライバー&チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。また、メインポストからのペナルティ等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。

4. 大会規則の厳守

すべての参加者は大会規則書を熟読・理解し規則を厳守すること。

※疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること。

【13】 ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日ゼッケンプレートを配付します。

配付されたゼッケンを参加車両のドア部左右（両ドア）に貼り付けてください。

ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく保持してください。

【14】 服装規定

ドライバー： ヘルメット（JIS規格C種以上が望ましい）及びレーシンググローブ（指先まで覆うもの）必須。また、レーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの服（作業ツナギ服等、なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい）及び、運動靴での参加も可。

ピット要員： 車両のサービスにあたる者は作業に適した衣服及び靴を着用すること。

オープンカー（ルーフを開けた状態）でレースに参加する場合の装備は、日光サーキット四輪スポーツ走行オープンカー規定に準ずる。

【15】 車両規定

1. 一般市販の四輪乗用車（軽自動車は不可）

2. 車両純正の燃料タンク又は安全タンクを使用すること。

3. 使用できるタイヤは一般市販のラジアルタイヤ（Sタイヤの使用禁止）とし、メーカー出荷時

に搭載されたエンジンの排気量により 1500cc 未満が幅 205 サイズまで、1500cc 以上が幅 225 サイズまでとしホイールのリム径・リム幅は自由とするが、取り付けたタイヤ及びホイールがフェンダーよりはみ出してはならない。

4. 練習・予選・決勝を通し使用できるタイヤ本数に制限はないが、安全に交換作業を行うために、タイヤを交換する際は 1 本につき 3 分間以上停止すること。(2 本なら 6 分間以上)
5. シートベルトは 4 点式以上を義務付とする。(ベルト基部は車体へ確実に固定すること。)
6. ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの+ターミナルは確実にテーピングを行うこと。

※バッテリーをドライバーと同じ室内に移動する場合、バッテリーは金属製の留め金を使用し車体に確実に固定し、箱形の金属製カバーをボルトにて取り付けること。

7. 衝突・横転などでドライバー及び乗員の安全を確保できる車両であること。運転席のドアは純正品を使用し、内張りの加工及び変更等は安全面に影響の無い改造は可とする。
※オープンカーなどルーフ強度の無い車両は、安全強度のあるロールバーを装備すること。
8. 最大音量は 105 dB 未満とする。また、最低一つ以上のサイレンサーを有すること。
9. 前後に牽引可能な牽引フックを確実に取り付けすること。
10. 油脂類 (LLC クーラントも含む) の漏れ防止策を講じておくこと。
※コースイン前にオイル、水、燃料等の漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまでコースインは認めません。
11. 参加車両はフロアマットなど、確実に固定されていないアクセサリ類は車室及びトランクから排除すること。
12. ワイパー・ヘッドライト・テールランプ・ウインカー・ブレーキランプは正常に作動すること。
※ヘッドライトは片側のみの装着でも可とする。
13. ウインドネット (手作り不可) を取り付けの場合は、ボルト等の金属製の物を用い、確実に取り付けすること。
14. 室内用エアダクトを設置する際、窓が開閉できる状態でボルト・リベット等を用いて確実に固定すること。

改造範囲は上記の車両規定に抵触しない範囲で安全であれば自由とする。

【16】 賞典

- 各クラス 1 位～3 位までトロフィー又は盾+副賞 (参加台数により変更あり)
- 総合優勝チーム 次戦レースへの招待+トロフィー又は盾+副賞

【17】 ハンディキャップ

優勝チームが次戦参加する際(招待)、ハンディキャップを課します。

ハンディキャップの詳細は、大会当日のドライバーズブリーフィングで発表いたします。

【18】 参加走行規定

1. 予選

決められた時間又は周回内の各チームベストラップの速い順を予選順位 (結果) とします。

2. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは、予選の結果順になります。

3. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。セーフティーカーを先頭に全車コースインし、隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。フラッグタワーの日章旗を合図に決勝がスタートします。セーフティーカーがピットイン後もスタートライン手前は追い越し禁止です。先頭車両がスタートラインを通過した時が耐久レースのスタートになります。コースイン終了時までには整列できない車両はピットスタート（3分間のピットストップ後）になりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

4. 走行中の運転席窓は全閉

走行中は運転席の窓は全閉で、ドアロックは解除してください。ただし、ウインドネット装着の場合は、窓を開けての走行を可とする。

5. ピットイン・ピットアウト

ピットイン・ピットアウトの際は必ず後続車に分かるようにウインカー等で合図すること。急激な進路変更は大変危険です。特にピットアウトの際、1コーナーまで内側走行を義務づける。

6. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰（オフィシャルの引上げが必要）できない場合は、ハザードを点灯させ大きく手を振るか、ヘルメットを被ったまま、速やかに安全な場所まで避難するなど意思を明確に示すこと。セーフティーカー介入後（場合によってはレッドフラッグにて走行中断）オフィシャルが迅速に車両引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかに車両に戻り、指示に従い車両を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる再検査（車両点検）を受けた後、再スタートを切ることができます。

7. セーフティーカー（決勝レース）

走行に支障をきたす事故・車両回収等がコース上で発生し、レースを中断することなく車両回収等の作業が行える場合、フラッグポストより黄旗とSCボードを提示しセーフティーカーを介入します。セーフティーカーの介入時は追い越し禁止となりますが、基本的にトップ追いつきとなりますので各車両、セーフティーカーの手合図に注意し指示に従うこと。また、セーフティーカー介入時もピットインを認める。但し、ピットアウトは再スタート後とする。再スタートは、セーフティーカーがピットイン後、メインポストのグリーンフラッグにより再スタートとなる。

※セーフティーカー介入時、『セーフティーカーは、少なくとも先頭車両がその後方につき、残りの全車両がさらにその後方に整列するまで活動を続ける。』との手順を原則とするが、短時間で車両回収等の作業が行える場合や、一度捉えた先頭車両がピットインした場合などでは、セーフティーカーの直後を走行している車両を先頭車両とみなしレースを再スタートする。

8. 決勝レースの中断

事故または、天候の悪化・その他の事由で競技の継続が危険と競技長が判断した場合、メインポストより赤旗を提示しレースを一時中断する。

- ① レース中断の合図（赤旗の提示）と同時に、ピット出口は閉鎖され赤旗を受けた車両より細

心の注意を払いコースを一周回し（追越し禁止）オフィシャルの指示により赤旗ライン後方（メインストレート上）に停車する。停車後、エンジンは必ず停止すること。また、停車車両に対しドライバーは一切の作業を禁止とし、チーム員のコース内への立入も禁止する。

- ② コース上の全車両が赤旗を受けた時点で、ピットインは禁止となりピット入口は閉鎖される。
- ③ レース中断の合図（赤旗提示）と同時に、コース・ピット全ての場所での作業は一切禁止（中断）とする。
- ④ 再スタートは、セーフティーカー先導によるローリングスタートとし、セーフティーカーがピットイン後、メインポストのグリーンフラッグにより再スタートとなる。

9. ピット・ピットロード

ピット・ピットロードおよび給油エリアでのリバースギヤの使用を禁止し、ピットロード速度は 20km/h 以下を厳守すること。（バックする場合は、エンジンを停止して手押しすること）また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止する。

10. 決勝前の給油作業

給油時は給油車両の全タイヤが路面に接地していること。（ジャッキアップ等の禁止）及び、給油以外の作業は禁止する。給油中の整備作業・車を揺する等の行為を禁止する。

11. ドライバーチェンジ回数と申告書

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、ドライバーチェンジ回数は 4 回以上（給油エリアでのドライバーチェンジも含む）とする。

ドライバーチェンジを行った際ドライバーチェンジ申告書の提出することでドライバーチェンジ回数がカウントされます。

提出する際記入用紙に運転しているドライバーと交代ドライバーを記入すること。

記入時には本名またはエントリー名で記入してください。

提出時間はドライバーチェンジ前後 10 分間受け付けます。

提出場所はコントロールタワー下のプレハブ小屋でドライバーチェンジ申告書を受付します。

12. ピットアウト（ピット出口）の閉鎖

レーススタートから 3 時間 5 8 分が経過するとピット出口が閉鎖され、ピットに停止中の車両は再びコースに戻ることはできない。

【19】 決勝レース中の給油について

決勝レース中の給油は、指定時間内（2 時間 30 分）に給油エリアで行われ、給油回数は 3 回とする。1 回の給油量は 20L 以下とし給油エリアに持ち込める携行缶は 1 缶までとする。

※ 給油エリアでの滞在時間は、給油の有無に関わらず 1 回につき最低 3 分間とする。

※ 給油エリアは最大 2 台まで同時給油可能。

※ 指定時間外・指定場所外での給油は一切禁止とする。

1. 給油方法

- ① 給油エリアにてエンジンを停止後、停止時間の計測をオフィシャルが開始する。
- ② 計測開始後、給油エリアまで運転してきたドライバー及び再スタートドライバーを除く 2 名の給油担当作業員（1 名は給油担当・1 名は消火担当）により給油を開始

する。

- ※ 給油作業中、消火担当者は消火器を給油口に向け構えること。
- ③ 作業終了後、規定の停止時間が終了した時点でエンジンを始動し、コースに復帰する。その際、各自のピットエリアでの作業は禁止とする。
- ※ 給油エリアでの車輛整備等(車輛に触れての整備・調整)の行為は一切禁ずる。
- ※ 給油エリアまで運転してきたドライバー及び再スタートドライバー(ドライバーチェンジを行う場合)は給油に参加できないため、給油作業は他のドライバー又はピットクルーの2名で行うこと。
- ※ 給油時は肌の露出がない服装で、ヘルメットおよびグローブを着用すること。

2. 燃料の保管

決勝レースの給油用燃料の保管場所はエリア内に設けた燃料保管場所でのみ保管できます。規定時間内に給油用燃料を保管エリアまでお持ち下さい。尚、ピットエリアに燃料を保管することを禁止します。

※ 安全に使用できるスチール製のガソリン用携行缶のみ使用可能とし、1チームに

つき10L又は20Lの携行缶を3缶まで、ガソリン容量を合計で60Lまで保管できる。

保管の際、携行缶には判別が容易に出来るようにゼッケン番号を明確に記入すること。

保管時にオフィシャルが携行缶の計量を致します。そのため保管終了後は手を触れることはできません。給油後の携行缶は別スペースの使用後の保管場所に保管し、その後は保管解除の案内があるまで手を触れることができません(給油時間終了後、携行缶の再計量をする為)算出方法→ガソリン 20Lの場合はガソリン比重が約 0.75kg/L×20Lとし 15kg となりますので(元の重さ) - (使用後の重さ) = (重量差) として計算。誤差を考慮し16kg 以上の場合は失格とする。

【20】 計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了は、先頭車輛がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車輛からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

【21】 レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブル等により競技の続行が不可能と競技長が判断したときは下記の対処となります。

競技時間の50%～成立とする。また、赤旗によって途中中断した場合、再スタートには計時を終了した時点の順位(赤旗の提示前の周回)を再スタートの順位とする。

また、再レース終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。いずれも競技長の判断により決定し、各チーム代表者へ伝達します。

【22】 完走

自走でチェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。

【23】 車輛保管

レース終了後、再車検の為、全車車輛保管を行います。オフィシャルの指示に従って車輛を指定場所（メインストレート上）まで移動してください。

【24】 クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印の入った文書のもと、チェッカー後 20 分以内にクレーム申請料¥30,000 を添えて、事務局へ提出してください。なお、クレームが成立した場合は、申請料¥30,000 は返却致します。

※口頭でのクレームは一切受け付けません。

【25】 リタイヤ届け

リタイヤする場合は、速やかに大会本部（コントロールタワー2F）まで申告すること。その際にゼッケンプレート・タイム計測器を持参し返却すること。

【26】 ペナルティ

規則違反者に対し、黒旗と当該車輛のゼッケンがメインポストから提示される。

レース中に課すペナルティは次の2つのタイムペナルティとする。

1) ドライビングスルーペナルティ

ドライバーはピットレーンに進入し、ピットに停止することなくピットレーン出口からレースに復帰しなければならない。

2) ペナルティストップ

ドライバーは自チームのピットエリアに戻り、ペナルティとして課せられた時間の間、停止しなければならない。ペナルティストップの時間は、違反の軽重に基づき競技長の判断によって決定される。

（ペナルティの例）

- 反則スタート（ドライビングスルーペナルティ）
- 無理な追い越しによる軽微な接触など（ペナルティストップ 3分）
- ペースカー介入の原因を作った車両又は、救済を受けた車両（ペナルティストップ 5分）

【27】 諸注意

1. コース内やコンクリートウォール上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。
2. パドック内は禁煙（火気厳禁）です。喫煙は喫煙所をお願いします。
3. 小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようお願いします。また、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付けください。
4. サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能ですが、レース終了時までパドックからの移動は出来ません。

【28】 フラッグ（旗）・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、重要なルールとなります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。本大会では、シグナルフラッグの一部が通常（H項）の意味と異なる使用法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。危険回避出来る状態で走行してください。

3 コーナーまでの危険箇所発生に対しフラッグポストより振動提示

4 コーナーから先の危険箇所発生に対しフラッグポストより静止提示

黄旗+SC ボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止。

ペースカーから指示のある場合は、指示に従い安全な速度で速やかに隊列の最後尾についてください。

赤旗（練習・予選）→走行中断。追い越し禁止・安全な速度でピットに戻り停止。

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。

赤旗（決勝）→赤旗を受けた車両より細心の注意を払いコースを一周回し（追越し禁止）オフィシャルの指示により赤旗ライン後方（メインストレート上）に停車する。

白旗→コース内に低速で走行する車両又は緊急車両等がいることを知らせる。

オイル旗→路面が滑りやすい。急な降雨、オイル流出等。注意して走行してください。

緑旗→先に出した合図の解除。（コースクリア）

オレンジボール→機械的トラブルのある車両に対してのピットイン命令。

改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。

黒旗→非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティの対象車両に対してのピットイン命令。改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする。（同じ理由のペナルティを2度受けた場合等）

日章旗→レーススタートの合図。

チェッカーフラッグ→走行の終了又は競技の終了。

給油旗（白地にカメ）→決勝中の給油可能時間にフラッグポストにて掲示します。